

## 会員の広場

### ご家族皆さんで語り合う心の大切さ

三谷高砂会 本多 敏雄

昨年の春に旅先の電車の中で、私の座席横に座る主婦二人がお互に主人の行いに対する愚痴と不満を悉く話しておられました。愚痴の内容は余りにも多く申し上げる事が出来ないが、主に家事の手助けを一切やってもらえないことや、家族に対する思いやりが全くない事を話しておられました。主婦の願いはほがらかで明るく、家庭的な温もりがある家庭を力強く望まれておられました。又夫婦共働きで働いておられる様で家事と働く事が容易なことではない事も言っておりました。なんにしろ愚痴の連続でした。

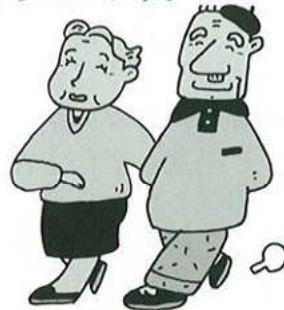
最近では熟年の離婚も少なくありません。ところで、男性である皆々様は主婦の愚痴に対してどう思いますか。私の思考としては時の流れを感じると同時に、前向きな性格の転換があつても良いと思います。又主婦の語っておられる言い草にならない様に、反省も必要だと思います。そこで私の思うには、夕御飯の時は誰でもうれしいものです。食事に加えて妻や家族との温かな語らいがあれば楽しくて空腹を満たす以上の喜びを感じると思います。又、休日の時は家族全員で一緒に食事をする事にしている家庭も少なくありませんが、そこで例え一日の中で僅かな時間を見つけ、家族がその日にあった事や計画などを話し合う機会も良いと思います。親は子供が話す事柄から子供の考え方や気持ちをある程度くみ取る事が出来ます。だから、家族全員で語り合う事によって家庭内に笑顔や明るさが増し主婦も愚痴を言わず家族全員が協力する様に成ると思います。

又、家庭だけでなく地域社会の中でも多くの仲間と一緒に充実したコミュニケーションの輪を広げ豊かな心を持つ事が大切だと思います。

ところで、年々歳を重ねて行くたびに体力の衰えを感じる侘しさと、老いて行く精神面の弱さを補うためにも私は健康づくりとして毎日ウォーキングを楽しみながら、自然の環境の良さに心も身も癒され、野山を歩く心地

良さは最高で感動を覚えます。人生を毎日楽しく送るには、先ず健康で暮せる事です。

それが最大の幸せだと思っております。明日を信じて頑張り上手に歳を重ねて行きながら、生涯を自分なりに笑って楽しく暮せればそれがなによりと思っています。



### 地区の小学校見守り隊について

蒲郡第七栄宝会 松山 三男

私は、地区の子供たちを事故や犯罪などから守るために、中央小っ子見守隊となり、毎朝学校の子供を校門近くまで送っています。交差点に信号がないので交通整理もしております。朝の歩く運動と、子供の安全と一石二鳥です。

先ず子供たちに、「おはようと」挨拶をします。始めのうちは全々無視する子、てれかくしに小さな声でおはようと言う子、元気よくおはようと挨拶する子、色々な子供でしたが、この頃は元気な声でおはようと応えがかかるようになります。毎朝の見守りが楽しくすがすがしい気持ちです。先ず大人から子供にやさしい声をかけ、地区のみなさんが子どもたちと向き合い、温かく見守ってやれば明るく素直な子供になると思います。今全国的に話題になっております、いじめやいじめに依る自殺者、下校途中の子供が殺害されるという痛ましい事件等、地区から絶対に出してはいけないと思います。

